



青森県発明協会では、公益財団法人むつ小川原地域・産業振興財団の支援を受けて、地域のものづくり企業従事者等が講師となり、小さな子どもでも簡単に作れる工作等を通じて科学やものづくりへの興味を引き出すことを目的として「地域の企業がやってくる！科学・工作体験授業」を実施しています。

全5回のうち、第3回目となる今回は、8月21日(土)、(株)今井産業(平川市)の原子学さんと葛西一穂さんを講師に迎え、平賀保育園で放課後児童クラブなかよしBANBAN・ちゃれんじBANBANの皆さんが「e.wood+」を使った車付きの箱の製作体験授業を行いました！



今日は、箱の製作の前に木材についての勉強から行いました。

始めは、原子さんが講師となり資料を見ながら各木材の特徴などを実際に触り確かめました。

そのあとは、葛西さんが講師となり「木材と環境について」、(株)今井産業さんが製造方法で特許を取得した波型ボードを使用した、今回の材料「e.wood+」について教えていただきました。

次は、いよいよ箱の製作です。皆さん頑張りましょう♪



「e.wood+」の耐久実験中

片足で乗っても潰れません！



まず、組み立てて



ちょっとむずかしい・・・



協力し合って



飾りつけ
どうしようかな？

今日の材料です。

